

特別展

読み継がれる鷗外

2022

4.23 | 土 — 7.31 | 日 文京区立森鷗外記念館

会期中の休館日 | 4/26[火]、5/23[月]・24[火]、6/27[月]・28[火]、7/26[火]
開館時間 | 10時から18時まで(最終入館は17時30分) * 7月9日[土]は9時から20時まで開館します(最終入館19時30分)。
観覧料 | 一般600円(20名以上の団体:480円) / 中学生以下無料、障害者手帳ご提示の方と介護者1名まで無料
* 文京ふるさと歴史館入館券、パンフレット(押印入)、友の会会員証ご提示で2割引き * その他各種割引がございます。詳細は記念館HPをご覧ください。
本展覧会の最新情報は記念館HP等でご確認ください。イベントご参加にあたっての注意事項は、記念館HPの「展示案内」をご確認ください。



2022年 開館10周年
文京区立 森鷗外記念館
Mori Ogai Memorial Museum



森鷗外 没後100年
「森鷗外 没後100年」プロジェクト
デザイン科 現代職子



人間は生きてゐる限は
思量する。
—— 鷗外「なかじき」より

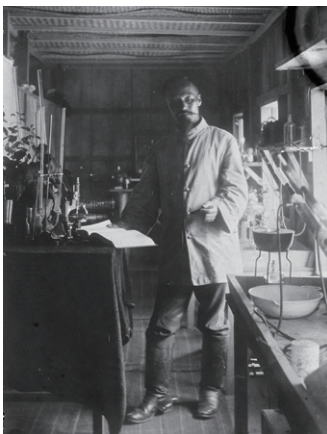
2022年は、小説『舞姫』で知られる文豪・森鷗外(1862-1922)の生誕160年・没後100年です。

鷗外は島根県津和野町で生まれ、幼いころに漢学を、大学では医学を学び、陸軍軍医として衛生学の修学にドイツに留学し、日清・日露戦争では戦地に赴き、のちに陸軍軍医総監・陸軍省医務局長に就任。医学のみならず西欧文化を日本に広め、近代日本を代表する知識人として活躍しました。

鷗外の著述は、創作や評論、翻訳などあわせて1,300以上に達します。明治・大正では文学者たちに師と仰がれ、昭和・平成を通しては文芸に加えて多分野にわたる業績についても見直されるなど、時代状況に従って、鷗外はさまざまな関心をもって読み継がれてきました。そのたびに、作品や人物像について新しい面が表れているのが、鷗外の魅力であり強さです。

本展では、鷗外を敬愛する小説家・平野啓一郎が8人の作家や研究者を選出、鷗外を読み継ぎます。彼らが読み継いだ『雁』『山椒大夫』『キタ・セクスアリス』『鶏』『大塩平八郎』『鷗外日記』、小倉時代、大逆事件などを関連資料とあわせて展覧します。また、鷗外を語った作家や、現代まで読み継がれてきた鷗外訳『即興詩人』の変遷も紹介します。

鷗外はこれからも時代の視点で読み継がれていくことでしょう。没後100年の現在でも古びない、読むべき魅力をお楽しみください。



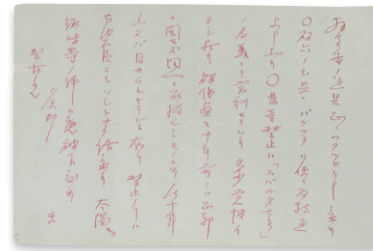
研究室の鷗外
1906年



◀小説「雁」
1911年5月 初山書店
雑誌「スバル」で、1911年9月から1913年5月まで連載、単行本発行をもつて完結。昭和から平成にかけて映画・ドラマ・舞台化され、さまざまな表現で親しまれる作品。



鷗外の生前に発行された著作の数々



◀鷗外筆
賀古鶴所宛書簡
1909年8月1日付
小説『キタ・セクスアリス』掲載の「スバル」7号(1909年7月)が発売禁止になったことを伝える。『鷗外全集』(鷗外全集刊行会、1927年)に収録され、現在まで読み継がれる。



▲有元利夫
《キタ・セクスアリス》
版画「たばこのある風景」より
たばこ塩の博物館蔵
© YOKO ARIMOTO
現代を代表する画家たちが、近現代の日本文学作品の中からたばこの場面を題材に制作した版画シリーズ(1979～1991)の1点。主人公の二十歳の経験を想起させる。

◀アンデルセン作・
「鷗外訳『即興詩人』」
上・下
春風堂 1999年9月
発売当初から多くの人々に愛読され、時代を越えて読み継がれ、新たな発想の源泉にもなっている鷗外の代表的な翻訳作品。

▲安野光雅
「鷗外訳『即興詩人』」
講談社 2010年11月
「口語訳『即興詩人』」
山川出版社 2010年11月
鷗外訳「即興詩人」を愛した画家・安野が、主人公の足跡をたどった紀行画文集と、文語訳を口語訳し現代につなげた二冊。



青山七恵
Nanae Aoyama
作家



企画協力
平野啓一郎
Kaichiro Hirano
小説家



コリーヌ アトラン
Corinne Atlan
フランスの翻訳家、作家



宇佐見りん
Rin Usami
作家



ロバート キャンベル
Robert Campbell
日本文学研究者、早稲田大学特命教授



永井愛
Ai Nagai
劇作家、演出家



中島隆博
Takahiro Nakajima
哲学者、東京大学教授



平出隆
Takashi Hirai
詩人、多摩美術大学名誉教授



村田喜代子
Kiyoko Murata
作家

展示関連講演会 1

「森鷗外と陽明学」

近代日本では日本的な陽明学が形成されていきました。森鷗外とその作品が陽明学とのような関係にあるかをお話しいたします。

講師 中島隆博氏(哲学者、東京大学教授)

日時 5月28日[土] 14時 - 15時30分

文京区立森鷗外記念館2階講座室 / 定員30名事前申込制

無料 * 参加票と本展観覧券(半券可)が必要

申込締切 5月13日[金] 必着

展示関連講演会 2

「鷗外と大逆事件」

「大逆事件」をめぐる、奇妙な立場に陥った鷗外。『沈黙の塔』『食堂』などから、その心中を探ります。

講師 永井愛氏(劇作家、演出家)

日時 6月19日[日] 14時 - 15時30分

文京区立森鷗外記念館2階講座室 / 定員30名事前申込制

無料 * 参加票と本展観覧券(半券可)が必要

申込締切 6月3日[金] 必着

申込方法

往復はがき 1往信に「〇月〇日講演会・氏名(ふりがな)・住所・電話番号(緊急連絡先)を、返信用には、住所・氏名を明記の上、〒113-0022 東京都文京区千駄木1-3-4 文京区立森鷗外記念館「展示関連講演会」受付係まで応募ください。

「Eメール」件名に「〇月〇日講演会・本文に氏名(ふりがな)・電話番号(緊急連絡先)・Eメールを明記の上、link: event@moriogai-kenkan.jp に応募ください。

* 申し込みは、1通につき1名様お一人様1通まで、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。不明な点等ございましたら、文京区立森鷗外記念館にお問い合わせください。

展示解説

当館2階講座室にて当館学芸員が展示解説を行います。

日時 5月4日[祝]、6月15日、7月13日いずれも水曜日14時より(30分程度) / 定員先着15名

* 申込不要、当日の展示観覧券が必要です。直接講座室へお越しください(開場13時45分)。

※右記に加え、会期中展示解説をYouTubeチャンネルにて配信予定。

7月9日[土]は鷗外忌

・鷗外没後100年を記念して開館時間を延長します(9時 - 20時)。
・当日は展覧会を観覧された方に鷗外没後100年記念シールをプレゼントします。

・文京区にお住まいの方、学校や勤務先が文京区の方は、終日無料でご覧いただけます。

※対象は文京区在住、在勤、在学の方です。住所が記載されているもの(保険証、免許証、社員証、学生証など)をご提示ください。

鷗外忌記念展示 鷗外「遺言書」の原資料を展示します。
展示期間 7月1日[金] - 31日[日]

文京区主催

森鷗外没後100年記念学術講演会

「読み継がれる鷗外」シンポジウム

ゆかりの自治体(文京区・津和野町・北九州市・首長挨拶予定)基調講演 平野啓一郎氏(小説家)

パネリスト スッピン 平野啓一郎氏、青山七恵氏(作家)、平出隆氏(詩人)、多摩美術大学名誉教授 他予定

日時 7月3日[日] 14時 - 16時30分 / 東京大学伊藤記念ホール

* オンライン及び会場にて開催(事前申込制・抽選)

* 詳細は5月下旬に文京区ホームページ等でお知らせします。

次回展示

コレクション展「鷗外の住まい(仮)」

2022(令和4)年8月5日[金] - 10月16日[日] 予定

10歳で上京した鷗外における住まいを辿るとともに、鷗外が30年間暮らした観潮楼・当館の現在までの変遷を紹介します。

交通案内

バス 一般の駐車場がないので、公共交通機関をご利用ください。

電車 〇 東京メトロ千代田線「千駄木」駅1番出口徒歩5分

〇 東京メトロ南北線「千駄木」駅1番出口徒歩10分

〇 JR線・京成線「日暮里」駅南口徒歩15分

〇 都営三田線「白山」駅A3番出口徒歩15分

〇 JR線・京成線「日暮里」駅南口徒歩15分

〇 都営バス草63番系統「千駄木二丁目」下車徒歩十分

〇 都営バス上58番系統「団子坂下」下車徒歩五分

〇 B1ぐる千駄木・駒込ルート

〇 「19特養ホーム千駄木の郷」下車徒歩五分

〇 至目黒

〇 至目黒

〇 至目黒

〇 至目黒

〇 至目黒

〇 至目黒

〇 至目黒



文京区立森鷗外記念館 <https://moriogai-kenkan.jp>
〒113-0022 東京都文京区千駄木1-3-4 tel.03-3824-5511
〇 モリキネカフェ 10時30分 - 17時30分(ラストオーダー17時)
(※来館にあたって) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、来館の皆様は安心してご覧いただけるよう、必要な対策を講じて開館しています。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。今後の状況によっては、展覧会や関連事業について変更が生じる可能性があります。

生誕160年 没後100年 鷗外100年の森へ